

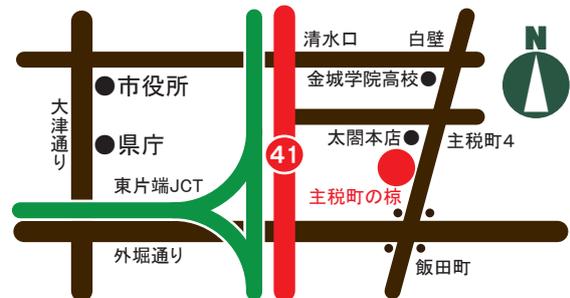


森の神様に会いに行こう

森には神様がいらつしゃいます。
 数百年、時には千年以上もの
 長き時間を、ただじつとそこにいて、
 森を、いのちを、守りつづけてくれました。
 さあ、みなさん森の神様に
 会いに行きましょう。

名古屋市内に「主税（ちから）町の棕」があります。幹周6m、樹高25m、樹齢不明です。名古屋市の保存樹になっていますが、天然記念物の指定はされていないようです。環境庁の調査では、個人所有となっているそうです。隣が駐車場となっていて、付近には何も無く7本だけ、すらっと空に向かって伸び伸びとした姿です。幹の真ん中あたりから、タオルを絞るようなぬじれがはっきり見えます。上まで見えないので分かりませんが、主幹の先端が途中で無くなっているような感じにも見えます。でもご覧の通り、枝には葉がたくさん生い茂っていて、とても元気な姿です。（すぎうら）

【道案内】市役所・県庁方面から名古屋高速都心環状線高架下の外堀通りを東へ進み「東片端」で47号線を渡ります。次の「飯田町」の交差点を左折し北上すると左側に見えてきます。同じ敷地が有料パーキングと太閤本店の駐車場になっています。



[名古屋市東区主税町4丁目 シャブシャブ太閤本店駐車场内]

※地図は略図です。詳細はカーナビ等にてご確認ください。

